



わかくさ抄

奈良市企業局でのパソコン研修とワード講座の意義について

昨今デジタル化が叫ばれ、企業だけではなく各市町村の職員もITスキルの強化がますます重要となっています。ここでは奈良市企業局におけるパソコン研修の現状と、そこで実施しているワード(文書作成ソフト)講座の意義について述べたいと思います。

1. 奈良市企業局でのパソコン研修

e-AACでは奈良県市町村研修センターからの委託により、10年以上前から奈良県市町村研修センターでパソコン研修を実施しています。内容は業務に必要なエクセル、アクセス及びパワーポイントで、奈良県の全市町村の職員の方を対象としており、万遍なく各市町村の希望者が受講できるようになっています。

ところが職員数の多い奈良市では受講希望者が非常に多いにもかかわらず、上記研修では広範囲の市町村を対象としているため、参加できる方はきわめて限定されているようです。

そこで奈良市企業局では全職員のITスキルの強化を図るために独自にパソコン研修を企画し、e-AACでは奈良市企業局から委託を受け一昨年からパソコン研修を実施しています。研修内容はエクセル、マクロとVBA、ワードの各講座です。奈良市企業局では奈良県市町村職員パソコン研修とは以下の点で異なります。

①対象者は全職員

②奈良県市町村職員パソコン研修にはないワードなどの講座

①の全職員を対象、とあるのは正規の職員以外にパート、嘱託など全職員が対象です。公務員は2~3年で異動があり、そのたびに職場が変わり前任者の業務を引き継ぐ必要があります。職員のITスキルにばらつきがあると、担当者によっては前任者が作成したエクセルなどが理解できず、業務に支障をきたす場合があります。職員全体のスキルを向上させることによってこの問題を解決することも目標のひとつになっているようです。

②のひとつとしてマクロとVBAがあります。エクセルの自動化を行う機能で難しい内容ですが、同上の趣旨のためか受講者が多いのには驚かされます。

2. ワード講座の意義

ここでは②のもう一つのワード講座について踏み込んで説明したいと思います。ワードは奈良県市町村職員パソコン研修にはない講座です。ワードは知らなくてもなんとなく使用でき、またエクセルに比べると用途が少ないので研修の必要性が少ないようです。また思いもよらずレイアウトが崩れるなど厄介な側面もあり、一般的に敬遠され、場合によっては嫌われているようです。そのためかわりにエクセルで文書を作成される方も非常に多いようです。

エクセルで作成した文書は行頭を揃えるためにエクセルのセルを方眼紙状につくっているのが多々あります。そのため行の右端は不揃えになってしまいます。一度役所のエクセルで作成された文書を見て驚きました。この方眼紙状に作成された文書で右端も揃っており、まさに神業です。この文書を作成するためにどれだけの時間を要したのか、と思わずにはおられません。

一方、ワードの基本操作を知らずにワードで作った文書を見ると、複数行になっている段落では、各行の行末は改行のため右端が揃っていないのが多く見られます。ワードの本来の使い方を知らずに使っているからだと思えます。

インターネットで調べるとアメリカではワードは問題なく使われており、嫌われていないようです。恐らくタイプライターの文化が継承されているのではと推測しています。タイプライターの文化の中でも重要なのはタブとインデントです。この2つをきっちり理解していると上記のようなことが起こりにくく、又敢えて効率の悪いエクセルで文書を作る必要性がなくなります。

更にワードには多くの機能があり、これらを正しく使いこなすと、思いもよらない変な動作を回避でき、きれいな文書を早く作成することができます。これらは自己流ではなかなか修得しにくく、ワード講座を通して職員の業務の効率化に貢献できればと考えています。



第3部会長
藤村 茂

今月のトピックス!

1. 子どもゆめ基金二次申請が採択されました。

- 3つのテーマ、合計12講座
 - ・ロボットカーの製作とプログラミング体験講座
 - ・プログラミングでロボット制御を学ぶ講座
 - ・ハードとソフトでコンピュータを学ぶ講座
- 期間:2022年10月~2023年2月

2. NAFIC パソコン講座を開始

奈良県立なら食と農の魅力創造国際大学校(旧農業大学校)の1年生(20名)を対象に9/1~10/20の毎週木曜日午後(全8回)に実施中。8/31にPC環境を確認。



3. 明日香村住民向けスマホ教室を開始

- ・実施日:7月24日、8月22日、9月26日、10月25日
 - ・参加者:11名~14名(全4回)。
- アンドロイド、iPhone、アンドロイドでも、かんたんスマホ、アンドロイドに分けて実施。

4. NPO ボランティア団体のパネル展に参加

- ・出展期間:8月6日~9月3日午前中(4週間)
- ・展示スペース:横約150cm、高さ約180cm
- ・展示:e-AACの活動チラシ、
- ・展示会場:
奈良市ボランティアインフォメーションセンター



ポスターの展示

5. みんなのページ

➡ 5, 6ページ参照

「第1部会」からの報告 自治体情報化支援

1. 自治体会員への『ちょっとアドバイス』

e-AACの自治体会員を定期的に巡回訪問して、それぞれ自治体が抱えているICTに関する課題について、助言や提案を行うとともに、情報システムの情報提供を行っている。

- 自治体会員:天理市、大和高田市、下市町、明日香村

- 実施テーマ (期間:2022.4~2022.9)

分野	件数
・行政システム	30
・地域サービス	8
・ICT技術	9
・その他	6
合計	53

- 訪問回数 (期間:2022.4~2022.9)

月	4	5	6	7	8	9	計
訪問回数★	4	4	5	5	4	5	27

★:オンライン(Zoom)会議を含む

2. 明日香村特別プロジェクト

(1)地域情報化支援事業 (担当:総務財政課)

- ① 地域情報化支援事業の経緯(平成27年度~現在)
e-AACが取り組んできた7年間の経過・実績のまとめ
- ② 令和4年度の取組み
・庁内対応:職員パソコン研修、
ICT何でも相談・・・6/21, 3ヵ月毎に実施
パソコン電話相談・・・上期一毎週水曜日 PM
・自治体DXの取組み提案

(2)明日香村DXの取組み

- ① 行政DX:DX推進業者選定審議会に参加
・事業者の審査
・自治体の情報システムの標準化・共通化の取組み
- ③ 地域DXの取組み
・村民向けスマホ講座(広報誌6月号に掲載)
・開催日:7/25, 8/22, 9/26, 10/24 時間 13:30~16:30
・住民アンケート調査についての討議

3. 他自治体の訪問活動

(1)高取町

- ・2021/6/14 町長と面談
- ・2022/5/23 総務課長と面談・・・DXの具体的な取組み提案
- ・2022/6/27 総務課長と面談・・・DXの具体的な取組み提案

(2)大和郡山市

- ・2021/12/22 市長と面談
- ・2022/4/18 企画政策課長と面談・・・DXの取組み提案
- ・2022/5/2 電話で辻井課長にフォローアップ

4. 奈良県ユニセフ協会プロジェクト

- 奈良事務所で使用中のシステムの更新・見直し、整備
- 期間:2022年4月~9月
パソコンでWindows11を立上げ、Microsoft365のインストール。
Outlookの設定、サーバー、ホームページの見直し・整備など

5. DX時代の取組み

政府は「デジタル田園都市国家構想」の中で、[自治体DXの取組みを強調している](#)。e-AACは、[4つの取組み](#)を、同時並行的に進めており、新時代に対応することが求められている。

- **行政DX** : <第1部会>
 - 行政システムの、標準化・共通化
 - IT資産管理の精査・見える化
 - 行政の生産性の向上 等
- **教育DX** : <第2部会>
 - 地域が育む子供ICT教育
 - 多様な交流を重ねて子供の社会規範を育む
 - 地域が学校教育を補完する
- **地域DX** : <第3部会>
 - 住民のICTリテラシーの向上(パソコン・スマホ講座)
 - 草の根サイバーセキュリティ活動
 - 人材を育成して、社会仕組を替える
- **長寿社会DX** : <協働>
 - 高齢者の生甲斐や活躍する場の提供
 - 高齢者が、ICTの利便性を享受し、
QoLを実感できる共助社会

自治体DXの取組み



■DXの3要素

- ・正解主義から修正主義・・・失敗から学ぶ
- ・ネット世界・・・ローカルプレイヤー
- ・メンタルの変化・・・文化を変える

■デジタル3原則

- ・デジタルファースト
- ・ワンスオンリー
- ・コネクテッド・ワンストップ

「第2部会」からの報告 学校教育情報化支援

■令和4年度上期の実績

児童・生徒を対象に、パソコンの講座やインターネット・リテラシーの講演等の活動を行っている。

令和4年度上期の活動は、コロナの影響でインターネットリテラシー講座の2講座が変更になったが、他の活動は予定通りに行うことができた。

1. 奈良県青少年社会活動推進課委託事業

県からの要請に基づき学校へ出向き、インターネット・リテラシーの講演を行っている。本年度も12件の講座を予定している。

1	6/2	大和郡山市立郡山西中学校	2	6/16	奈良工業高等専門学校
3	6/22	奈良県立山辺高等学校	4	7/1	上牧町立上牧第三小学校
5	7/7	東吉野村立東吉野中学校	6	7/13	桜井市立大三輪中学校
7	7/14	生駒市立大瀬中学校	8	7/21	田原本町立田原本小学校
9	9/27	橿原市立真菅小学校	10	(10/21)	桜井市立城島小学校
11	(12/1)	奈良市立左京小学校	12	(12/19)	宇陀市立室生中学校

注:()は予定

今年度は、高専の学生から小学生までの幅広い年齢を対象とした講座を開講した。約半数がオンラインでの講座であった。教室でオンラインにて講座を受けるほうが、生徒たちは話に集中できるようであった。



奈良高専での講座(オンライン併用)

2. 草の根サイバー・セキュリティ全国運動基金

草の根・サイバー・セキュリティの支援を得て、学校などからの要請に基づきインターネット・リテラシーの講演を行っている。

1	7/8	奈良市立佐保台小学校	2	7/30	登美ヶ丘公民館
3	(10/27)	奈良市立大宮小学校			

注:()は、予定

7/30の登美ヶ丘公民館では、中学生を対象としたプログラミング講座の中でインターネット・リテラシーについて、話を行なった。

10/27の大宮小学校では、保護者を対象として講座を開催する予定である。保護者から子どもが学ぶインターネット・リテラシーを学びたいという要請により開講する。

このような県のインターネット・リテラシー講座を補完する講座を開講している。



中学生向け講座

3. 学校支援

学校からの要請に基づき、パソコンクラブ等の活動支援を行っている。

1	佐保台小学校 パソコンクラブ	6/8, 7/6, (10/5),(11/2),(2/1),(3/1) (全6回)
2	生駒東小学校 パソコンクラブ	6/17, 7/1, (11/11)(全3回)

注:()は、予定

今年度より生駒東小学校の支援を行っている。

支援内容は、両校とも主にScratchを用いたプログラミングを行なっている。



生駒東小学校のパソコンクラブ

4. 子どもゆめ基金事業

例年公民館等を会場として、地区の小学校児童を対象にプログラミングを中心とした講座を開講している。

上期は2講座を修了し、下期は3講座を予定している。下期は中学生向け講座を開催する。



パソコン分解

小学生向け講座

プログラミング体験講座(終了)					
1	5/14	奈良市立大宮小学校	2	6/11	奈良市立平城公民館
3	7/9	天理市立櫛本公民館	4	7/16	天理市立井戸堂公民館
5	7/23	天理市立式上公民館	6	7/30	奈良市立登美ヶ丘公民館
7	9/3	奈良市立大宮小学校	8	9/10	下市観光文化センター

パソコン分解を通じてハード・ソフト・ネットを学ぶ講座(終了)					
1	5/28	奈良市立三笠公民館	2	6/25	下市観光文化センター
3	8/13	明日香村立中央公民館	4	9/17	奈良市立平城公民館

ロボットカーの製作とプログラミング講座(予定)					
1	10/8	奈良市立三笠公民館	2	10/22	奈良市立平城公民館
3	11/26	奈良市立三笠公民館			

プログラミングでロボット制御を学ぶ講座(予定)					
1	1/21	奈良市立三笠公民館	2	2/4	奈良市立平城公民館
	1/28			2/11	
3	2/18	奈良市立登美ヶ丘公民館	4	3/5	明日香村立中央公民館
				(中止)	

中学生向け講座

プログラミングだけでなくコンピューターのハードウェアも理解することを目指して、3日間のコースで開講する。

ハードウェアとソフトウェアでコンピューターを学ぶ講座(予定)					
1	11/12	奈良市立登美ヶ丘公民館	2	12/10	奈良市立登美ヶ丘公民館
3	2/18	奈良市立登美ヶ丘公民館			

「第3部会」からの報告 パソコン研修

コロナウイルスの影響が続くものの、上期はほぼ予定通りに実施することができました。特にシニア向けPC・スマホ教室は各コースとも受講者数が昨年に比べ増加しました。

本年度は新たに奈良県立なら食と農の魅力創造国際大学校(通称NAFIC、旧農業大学校)から1年生(20名)を対象にパソコン研修を受託しました。

一方昨年受託したポリテクセンター奈良からのパソコン研修は受託することができませんでした。又学園前スマホでは講師のご家庭にご不幸があり、9月からの実施分について中止となりました。

■ 受託 パソコン教室

1. 奈良県市町村職員パソコン研修

コロナウイルスの影響で定員を20名に絞って実施していましたが今年度は定員を30名に戻し昨年度同様に11月から実施の予定です。昨年のパワーポイント基礎の代わりにアクセス応用となります。本年度は昨年度3講座実施したエクセル基礎がなくなり全部で5講座となります。

コース名	コース数	日程	定員
エクセル応用	2	11/7-8,11/10-11	各30名
エクセル応用とマクロ	1	11/14-15	各30名
アクセス基礎	1	11/17-18	各30名
アクセス応用	1	11/21-22	各30名

2. 奈良市企業局職員PC研修

奈良市企業局の職員のワードとエクセルのスキルアップのための研修です。

本年度は庁舎工事のため、ワード・エクセル・マクロとVBAの3講座を1セットとして3回に分けて実施中です。



実施回	内容	日程	定員又は実績
第1回	①ワード	6/20~6/30	27名
第2回	②エクセル応用		
第3回	③エクセルマクロ・VBA (各2日間コース)	11/28~12/13	30名
		2/1~2/21	30名

3. NAFIC パソコン講座

奈良県立なら食と農の魅力創造国際大学校(通称NAFIC)から委託を受けて、本年度から1年生20名を対象にワードとエクセルの基礎を実施中です。本年度は9月1日~10月20日の毎週水曜日の午後1時~4時ですが、来年度は1年生・2年生を対象に4月からとなる予定です。



4. 耳成地区公民館スマホ教室

橿原市耳成地区の方を対象に本年度も上期にスマホ教室を実施しました(8回コース、10名参加)。途中スマホを片手に近隣を散歩するまち歩きを実施しました。10月から下期コースを実施する予定です。

5. 天理市パソコン教室(初級コース)

本年度上期はコロナウイルスの影響で会場を従来の市役所の会議室から天理市民会館に移して8月に集中して実施しました(6回コース、定員20名)。



下期は12月~1月に1コース実施の予定です(全6回コース)。

6. 高田市スマホ講座

高齢者の健康年齢を上げることを目的とした高田市市民交流センターから委託を受け、スマホ講座を実施しています(ほぼ1回/月、全12回、本年度で6年目)。



本年度は40名以上の申し込みがあり、毎回OBも含めて40名以上の参加があり、少ないメンバーとOBの協力を得てサポートを行っています。

7. 高田市スマホ講座OB会

スマホ講座OB(スマホニア)を対象にスマホを使って地域の活性化を図ることを目的としており、本年度はスマホのレベルアップを目指して、1~5期生を対象に学習会を実施しています(全6回、15名前後の参加)。

8. 明日香村スマホ教室

第1部会と共同で明日香村でスマホ教室を7~10月に実施中です(全4回、13名の参加)。

■ e-AAC パソコン教室(自主事業)

各教室とも市の広報誌に受講案内を掲載することにより受講生の確保を図っています。

1. 高田教室: 大和高田市中和労働会館(水曜日)

中級者向けにパソコン教室を産業会館で、午後は何でも相談を中央公民館で実施しています。上期は各回14~20名参加しました(全12回)。下期は10月から実施の予定です(12回)。



2. 学園前教室: 奈良市西部公民館

上期は初心者を対象にスマホ基礎コース(全6回)を実施しました。スマホの種類が多く、通常のAndroidとかんたんスマホに限定して実施しました。9月からのコースは講師の家族に不幸があったため一時的に中止し、来年1月から再開を検討しています。

3. 天理中級教室: 天理市民会館

中級教室は天理市パソコン教室(初級コース)の受講者のスキルアップを図ることを目的に実施しています。上期は4~5月に実施し、10~13名の参加がありました(6回コース)。下期は10月に実施の予定です(5回コース)。



「みんなのページ」 会員のみなさんからの投稿

e-AAC 会員のみなさんが投稿するページです。内容は問いません。気楽に投稿してください。(字数:600~800 字)

e-AAC の 6 年3ヶ月を振り返って

会員 田中伸和

65歳で定年(2016年3月)を迎えて、第二の人生何をしようかと考えていたところに電友会から耳成公民館でパソコン教室をするのでこないかとお誘いがありました。それが e-AAC 藤村さんとの出会いでした。

2016年5月の出来事でした。

7月に入会してみるとNTT 現役若手の乾さん、私と同じ新し物好きの西本さんがおられて話が弾みました。また、大洞さんとは、パソコンの基礎の話題で話が合いました。9月には総会もあり皆さんと顔を合わすことが出来、本格的なデビューとなりました。丁度、イチゴジャムの作成講座があり資料作りで苦労しているところに「実態配線図」を作成して講座に役立てました。また、ソフトがBASICで動作するのが懐かしかったです。

私がパソコンに触るきっかけとなったシャープの「MZ-80C」もBASICで動作していました。フェースブックの勉強会もあり、自分から情報を発信することを教わりました。

大洞さんとあちこちの学校にインターネットリテラシーの講習会にサポーターとして参加し、現役時代に学校訪問を行ったことを思い出しました。年が明けて**2017年**、スクラッチと言う新しい言語が出てきてソフトの勉強そして、ゲームの作成と次から次へと新しい項目が出てきて e-AAC の魅力にひかれてゆきました。

また、河田さんと市役所へのチョットアドバイスにも同行させてもらい LGWAN の話が出て、自分が携わった仕事が、こんな使い方をしていたのかと考えさせられました。時代はパソコンからスマホの時代に代わってきて、6月から高田スマホ教室が始まりました。生徒は、シニアでドコモの「らくらくホン」を半数が使っており、始めて触る私には「らくらくホン」の押し込まないと反応しないボタン操作には日西さんや山本さんと悪戦苦闘しました。

10月になり血圧の定期健診に行く朝、犬の散歩に行ったら急に犬が走り出し着いて行けなくなり、そのことを先生に言ったら即入院となり、心臓エコー検査で弁膜症だと判り岸和田の徳洲会病院まで救急車で転院しました。手術が終わり明日退院という日に藤村さんが見舞いに来てくれ喜んだのもつかの間、夜に敗血症を発症して再びICUに戻り3日後に意識が戻りました。その結果3ヶ月の長期間入院となりました。

2018年2月から復帰です。

3月には高田スマホ教室一期生による街歩きがあり、大中公園の桜が綺麗でした。スクラッチ教室も盛況です。

7月には樫原万葉ホールで、松阪のPCMの岡本さん主催のロボカー作成に西本さんと参加し、若い大学生と接しました。

2019年、高田スマホ教室二期生の街歩きが終わり、1年はあつと言う間に過ぎて行きます。1・2期生のための高田スマホ教室OB会が、渡辺さん中心に発足しました。ロボホンも導入され、この時期、ロボカー作成・スクラッチ・イチゴジャムの作成とあちこちの公民館で走り回りました。

2020年1月に、中国から新型コロナウイルスが流行りだしました。

乗鉄の私にとってビックなニュース、近鉄「ひのとり」の試乗会が抽選で当たりました。営業運転前のまっさらな車両に乗れるのは光栄でした。ユックリと名古屋まで4時間の長旅を堪能しました。3月にはコロナ流行で各教室も閉鎖に追い込まれました。何処にも出て行けなくなりYouTubeを見ていたら動画編集の特集をしており、綺麗なビデオ撮影をしたくなり、高価なGoProカメラと動画編集ソフトを購入しました。e-AACでは、コロナでみんなが集まれないのでテレワークで戦略会議を行い始めました。

Zoomの研修が始まり、自治体でも導入が盛んになり、自治体向けの講座も開きました。

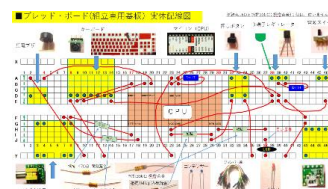
10月には、奈良テレビでe-AACの活動状況をテレビ放映してもらいました。コロナであちこちに出て行けず、時間が空いたので「自作パソコン作り」に挑戦して高性能なパソコンを組み立て動画編集も短時間で作ることが可能となりました。

2021年からは、コロナの感染対策を行い各教室を開くことが出来るようになってきました。

私自身もユーチューバーをやり始めて愛犬のビデオ撮影が増えました。スキルがアップして来た頃、天理の各公民館や高田人権施策課から動画編集講座の依頼があり、ワクチン1回目を接種して万全を期して対応です。6月にWindows11が発表になり、部会で概要説明をするため、必死に勉強しました。説明会はYouTubeのLIVE配信で行い、複数のカメラを「スイッチャー」で切替皆さんへ配信しました。高田スマホ教室OB会では、「メタバース」・「DX」の説明があり、どんどん新しい言葉が出てきました。新しい物好きにはワクワクする情報です。

2022年、音楽を聴くことが好きで「ワイヤレスイヤホン」に興味が出てきました。

e-AACに誘ってくれた事で、新しい物好きの私の第二の人生は充実することが出来ました。NTT以外の人との出会い、イチゴジャム・ロボカー作成・スクラッチ、そして、テレワークの実施、講座で講師をするなど、昔の私には想像できない事ばかりです。スマホ教室のテキスト作りも苦労しますが充実した時間になりました。これからも健康に気づかいマイペースでやって行こうと思います



【みんなのページ(続き)】

「プログラミング教育とAI」

会員 乾 佳



プログラミング教育は、2020年度以降、本格的に小学校から高校までの各学校で順次必修化されている。しかし、実際には新型コロナウイルス対策であり手をつけていないところもあれば、かなり踏み込んだ学習を行っている学校もある。手前味噌で申し訳ないが、e-AACではそれより先行して小学生向けにビジュアルプログラミング「プログラミン(サービス終了)」「Scratch」や人型ロボット「RoBoHoN」を学習する取り組みを行っている。

さて、なぜプログラミング教育を推し進めるようになったのかを知る人はあまりいない。人によっては「小さいうちからコンピューターに触れさせておけ」という考えから、「スマホやインターネットが普及してるし、時代の流れ」と軽く考えている人も多いと思う。その考えも私にとっては正解のひとつだと思し、否定するつもりもない。

ただ、これからの時代を支える子ども達にとっては、その限りではない。第四次産業革命と言われるAI、IoT、DX、メタバース等が身近なところにも徐々に浸透しているからだ。

例えばスマートフォンひとつ見ても、Androidだと「OK, Google」、iPhoneだと「Hey, Siri」と言うだけで分からないものを調べてくれる。AIで画像検索まで出来る。ゲームでも話題になったポケモンGOはAR(拡張現実)を使用している。出先から自宅の家電を操作するのは、IoTというものだ。

しかし、日本のみならず世界中で先端技術を取り扱える人が不足するというのが現実の見通しである。AIの性能が2045年に人類の知能を超える(技術的特異点)とまで言われている。

人間、物事が便利になったら前の生活に戻れない。例えば、電気がなくなったら、たちまち生活が混乱する。つまり、人類は進化し続けなければならない存在なのである。そのためにも、何世代も継続して教育を続けなければならない、そう感じる今日この頃である。

「事務局」からの報告

草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会 (Grafsec)

- (1) 4/26 ワークショップ (Zoom)
 - ・グループに分かれて活動報告、意見交換
 - ・1グループ: 7 団体+総務省職員+事務局 計 12名
- (2) Grafsec ホームページに e-AAC のセキュリティ活動の紹介
 URL: [\(Grafsec・SPREAD 共同コラム\)2022年7月13日配信 - Grafsec](#)



オンライン会議

貸出用ノートパソコンの処理スピードを改善

10年ランナーも多数健在なハードディスクのパソコン16台を対象にSSDへの変更が完了し、処理が早くなったのを実感しています。貸出用は全部で21台ありますが、Windows11へアップできるのは、昨年購入した3台のみです。

★編集後記★

COVID-19が、第7波へと広がり油断の出来ない状況が続いている。可能な限りコロナ対策をすべて実施して、前年度とほぼ同じレベルの活動を継続している。

また、少子高齢化が進み、高齢者向けのスマホ教室の需要が増えている。メンバーの健康には十分気を配ってきたい。

(e-AAC 編集部)

e-AAC 会員募集

会員皆様からのご紹介・勧誘をお待ちしています。特に、企業・団体・機関の会員を増やしていきたいと思っております。事務局までご連絡ください。

◎ 正会員・個人会員・賛助会員・自治体会員

Tel/Fax: 0742-36-8520

e-mail: e-acc@vesta.ocn.ne.jp

協賛団体



電友会
奈良支部



発行
特定非営利活動法人
電子自治体アドバイザー・クラブ(e-AAC)

編集
e-AAC 編集部
ご連絡先 e-mail: e-acc@vesta.ocn.ne.jp
ホームページ: http://eaac.sakura.ne.jp/